

RPSJ NETWORK

Railway Preservation Society of Japan

日本鉄道保存協会 会報
2002 MARCH 第6号

日本鉄道保存協会総会を終えて



総会・シンポジウムの参加者たち



総会後のシンポジウムで発言される顧問の先生方



新幹線0系の先頭車を見学する



館内に鉄道模型・ジオラマを操作する総会参加者

平成13年度の日本鉄道保存協会総会等の開催地は、(株)東海旅客鉄道が力を入れて歴史的車両の保存をおこなっている佐久間レールパークであった。新幹線0系先頭車や、輸入電気機関車、旧型客車等16両が、きちんと整備され、展示されている様子は素晴らしい。

視察した参加者からは、「手入れが行き届いている」、「我国を代表する歴史的車両が保存されている」など、高い評価が多く聞かれた。さすがに、同社会長須田寛氏や技術本部副部長の中川彰氏はじめ、スタッフの見識の高さが、充分理解できるのである。

も車両の歴史、技術、本質性など、保存にかかわる意気込みやコンセプトが明確でわかりやすかった。まさにその結果が佐久間レールパークの保存をゆるぎないものになっている。

意見交換では、加盟団体からの歴史的車両の保存・活用にかかわる問題提起をもとに、当協会顧問の青木栄一先生(駿河台大学教授)、小池滋先生(英文学者)、松澤正二先生(元交通博物館副館長)そして堤一郎先生(産学考古学会監事)からのコメントをいただきながら進行をおこなった。

テーマは、「歴史的車両の動態保存を存続するための魅力づくり」である。日本鉄道保存協会の加盟

団体は、企業、自治体、市民団体等さまざまであり、とにかく動態保存を組織や人々の合意で推進してきている。しかし、それぞれの体制の実情は、決して動態保存にとっていつも順風ではない。当事者だけでの存続システムを確立しているだけでは限界があり、幅広い支援者が必要である。鉄道に深い愛着のある人々だけでなく、地域の人々の参加や連携が何よりも大切である。

例えば、地域史の中で鉄道車両の歴史・文化的価値を知り、これをわかりやすく広めてゆくことも必要だ。学校教育や、自治体の参加が、家族での参加につながる事例もある。要するにみんなで動態保存を支えるシステムを地域の事情に合わせて確立させたい。理想かもしれないが、まず、これが第一だ。

一方で、ハード面では動態保存をおこなうために技術の伝承がある。実際に古い車両を走らせているから、部品の調達、保守人員の確保、問題は山積している。例えば、SLの部品のストックはほとんどない。廃棄されたものや展示（静態保存）の車両から見つけ出すしかないし、それが一番手っ取り早い方法でもある。車両の本質性やオリジナルにこだわればもっと課題は増えてしまう。

動態保存をとりまくソフト面、ハード面の問題・課題は、数えきれない。しかしながら、誰もが笑顔をもって接することができる動態保存はやはり尊いものである。

試行錯誤ばかりせず、悩まず、そしてあせらず、何よりも楽しくすすめたい。そのためには、お互いに力を合わせ、日本鉄道保存協会を交流の場として、もっと活用することを再認識した。加盟団体のパンフレットをお互い常備するという「レイルマガジン」の名取編集長の提案は大きな励みとなった。

次回大会は、栃木県真岡市で開催する予定。

(事務局 米山淳一)



国の名勝に指定されている龍澤寺を視察

★総会報告★

「佐久間レールパーク」で静態保存されているE D11形電気機関車やクモハ52形流線型電車などのほか、たくさんの歴史的車両が整備・展示されている様子を視察した後、場所を移し、平成13年度総会をおこなった。総会には、顧問の青木栄一氏、小池滋氏、松澤正二氏、当財団の増田浩三理事をはじめ、全国から11団体から25名、賛助会員7名、オブザーバー18名が出席した。まず、賛助会員の石田貴彦氏の退会を報告し、その後、平成12年度の事業、収支、監査の報告と平成13年度の事業計画・収支審議をおこなった。

平成12年度事業では、総会の開催の他、歴史的動態保存のあゆみの作成や歴史的車両の動態保存に関わる車両部品等のアンケートを実施した。平成13年度事業では、当財団のヘリテイジセンター「長浜鉄道文化館」で展示する日本鉄道保存協会加盟団体の活動を紹介するパネル製作に協力することと、平成13年9月14日に開催されるほべつ銀河鉄道の「よみがえれ汽笛」へ協力することが決まった。また、次回開催地は栃木県真岡市の真岡線SL運行協議会に決まった。総会後は、開催地団体のJR東海の歴史的車両の保存の取り組み発表や、「歴史的車両の動態保存を存続するための魅力づくり」というテーマで意見交換会をおこなった。

翌7日は、井伊家の菩提寺である龍潭寺の名勝庭園を見学した後、JR東海浜松工場で新幹線の整備状況や復元された貨車・トキ900などの見学をおこなった。

(事務局 松本恵子)

加盟団体からのお知らせ

★三笠市商工観光課からのお知らせ★

—SL 機関士体験クラブの開設と 学科講習を実施！—

三笠鉄道では、北海道鉄道発祥の地（明治 15 年道内で最初の鉄道・幌内～小樽手宮間開通）として、歴史遺産、文化保存のため、昭和 62 年オープンしました。村内には、本物の蒸気機関車 SL304 号を当村の目玉として運行し、訪れる皆さまに喜んでいただいています。

今回、三笠鉄道村の開村 15 年を記念して、この SL を運転してみたいという声をたくさんお聞きしていたことから、特別企画として、SL 機関士体験クラブを開設し、実物の SL 運転体験に向けて、それに必要な知識等を習得する、学科・実技練習を実施し、当講習を終了した方が運転体験を行う内容で実施することといたしました。

【学科講習実施内容】

- (1) 期間：平成 14 年 5 月～10 月
各月 4 回
- (2) 場所：三笠鉄道村内三笠鉄道記念館
- (3) 講習内容：鉄道の歴史及び幌内鉄道について
- (4) 受講料：1 万円（受講日当日、受付にてお支払いください）
- (5) 応募資格：18 歳以上の方（身体に障害があっても自力で蒸気機関車に乗車できる方は当村で運転体験の支援をさせていただきます。）

【申し込み先（電話申込み可）】

〒068-2145 北海道三笠市幌内町 2 丁目 287 番地
三笠鉄道村〔SL 機関士体験クラブ〕係

〔問い合わせ〕

三笠鉄道村 Tel : 01267-3-1123
三笠市役所商工観光課 Tel : 01267-2-3997

★小樽交通記念館からのお知らせ★

—旧手宮機関車庫などの施設が 重要文化財に指定—

昨年、11 月 14 日に小樽交通記念館とその周辺に残っている「旧手宮鉄道施設」が国の重要文化財に指定されました。小樽市内では「旧日本郵船(株)小樽支店」に続き 2 件目の指定となります。

主な構造物は「機関車庫（1 号・3 号）」「転車台」「貯水槽」「危険品庫」「擁壁（手宮高架栈橋を走る線路の路盤を支えていた物）」で構成されています。転車台は現在でも、動態保存している蒸気機関車「アイアンホース号」の運行に使用されています。

これらの施設は石炭とともにあった蒸気機関車時代の歴史、また日本の鉄道技術の発展を示す貴重な近代化遺産として保存に努めていくこととなります。

【イベントのお知らせ】

小樽交通記念館では親子で楽しめるイベントも企画していますので是非ご来館ください。

- ・トミカ・プラレールフェスティバル
4 月 27 日（土）～5 月 6 日（月）
- ・きかんしゃトーマスとなかまたち
7 月 27 日（土）～8 月 18 日（日）



トーマス展の様子



(右) 機関車庫 1 号 (左) 機関車庫 3 号
(中央) 転車台

★真岡線 SL 運行協議会からのお知らせ★

－「もおか SL 倶楽部」を結成－

真岡線 SL 運行協議会と真岡鐵道では、SL や鉄道に関心があり、SL 運行にかかわるボランティア活動をとおして、会員相互の親睦や沿線地域との交流を深めていただくため、平成 13 年の「鉄道の日」を記念して「もおか SL 倶楽部」を組織いたしました。

「もおか SL 倶楽部」への入会は、随時受付をしており、現在 74 名の個人や家族が入会しています。また、当倶楽部では、年間 2 回の SL 乗車（指定日）とボランティア活動の案内や運行日、イベント計画などの情報提供、会報の発行などを予定しています。

2 月 10 日（日）には、第 1 回目となる「もおか SL 倶楽部」交流会を開催しました。曇り空の寒い日にもかかわらず、遠方より家族会員や兄弟会員など 44 名の方々が出席され、主催者の歓迎挨拶、会員紹介ののち、SL のビデオを鑑賞をしながらの楽しい懇談会や SL 見学会、記念撮影などで交流を深めました。また、今後のボランティア活動計画などについて貴重なご意見をいただき、限られた時間ではありましたが有意義な交流会となりました。

なお、今後（上半期）のボランティア活動は次の表のとおりです。

〔問い合わせ〕

〒321-4305 栃木県真岡市荒町 5230
Tel : 0285-82-9151 Fax : 0285-82-9152
真岡線 SL 運行協議会事務局
担当：永嶋、小菅（和）

上半期のボランティア活動

計画日時	内容	備考
4 月 6 日(土) 11:10~15:00	第 1 回 SL ボランティア ・プレート、ヘッドマーク磨き ・SL 倶楽部号ヘッドマークづくりほか	真岡駅集合 SL 乗車での参加が可能です
5 月 18 日(土) 11:10~15:00	第 2 回 SL ボランティア ・プレート、ヘッドマーク磨き ・SL 倶楽部号ヘッドマークづくりほか	真岡駅集合 SL 乗車での参加が可能です
夏休みに実施 7 月 25 日(木) 8 月 1 日(木) 8 月 8 日(木) 8 月 22 日(木) 11:00~14:15 (各回同時刻)	第 3 回 SL ボランティア ・SL 教室のスタッフボランティア 会場準備、受付、誘導、安全確保ほか (大人の会員のみ。なおお子さんの SL 教室への参加は可能です) ・SL 教室の説明ボランティア SL の動く仕組みや各部の名称説明など (指導ボランティア登録者)	茂木駅集合 JR 上野駅 8:02 発の列車で参加可能です。帰りは、SL 乗車が可能です。



第 1 回もおか SL 倶楽部の様子 1



第 1 回もおか SL 倶楽部の様子 2

★日本工業大学工業技術博物館のお知らせ★

— 蒸気機関車定期公開運転について —

平成 14 年 4 月より当博物館にて動態保存・展示しております 2100 形—2109 号蒸気機関車を原則として毎月第 3 土曜日（8 月と 12 月を除く）の午後到有火運転し、一般に公開いたします。このほかにも学園祭等のイベント時にも有火運転を行います。また、当博物館では工作機械を中心に、約 400 点の常設展示機械・機器の約 70%は動態展示しております。

〔案内〕

- ・ 開館時間／9：30～16：30（入館は 16：00 まで）
- ・ 所在地／〒345-8501 埼玉県南埼玉郡宮代町学園台 4-1 Tel：0480-34-4111
- ・ 入館料／無料（運転時間・休館日等の詳細はお問い合わせください）



2100 形—2109 号蒸気機関車

★(財)東日本鉄道文化財団からのお知らせ★

— 「JAPANESE RAILWAY TECHNOLOGY TODAY (今日の鉄道技術)」を発売—



チラシ

(財)東日本鉄道文化財団では、日本の鉄道技術を英語でわかりやすく説明した、英文単行本（JAPANESE RAILWAY TECHNOLOGY TODAY）を(財)鉄道技術総合研究所と共編で発行、発売中です。

〔問い合わせ〕
株交通新聞社

Tel：03-5216-3217

★赤沢森林鉄道からのお知らせ★

— 来園者が 200 万人を突破 —

2001 年 8 月、赤沢自然休養林では、開園以来通算 200 万人目の来園を迎えることが出来ました。赤沢が開園して約 30 年、森林鉄道が運行を始めて 15 年となります。現在は来園者の約半数が森林鉄道に乗車しており、200 万人達成の記録に赤沢森林鉄道が果たした貢献度は計り知れないものがあります。

この森林鉄道を末永く保存するため、上松町では軌道の整備を行っています。2001 年末から 2002 年春にかけて、特に老朽化の進んだあすなる橋を架け替え、前後の軌道の R を減らす工事を行いました。

また、今年は秋の特別運行を予定しています。紅葉シーズンに、より多くの方に森林鉄道と天然林の魅力を満喫していただきたいと思えます。詳しい運行情報は、上松町観光協会までお問い合わせください。

〔問い合わせ〕

長野県木曾郡上松町駅前通り 2-13
上松町役場内

Tel：0264-52-2001 Fax：0264-52-1038
E-mail：hinoki@avis.ne.jp

★虹の郷からのお知らせ★

— 活躍する 15 インチ鉄道 —

修善寺「虹の郷」では蒸気機関車 4 両、ディーゼル機関車 2 両、客車 18 両全てを動態保存しています。

営業運転には英国のレーブングラス鉄道で新造された蒸気機関車 CUMBRIA と NORTHEN ROCK II、TMA エンジニアリングで新造されたディーゼル機関車 JOHN SOUTHLAND II と CITYN OF BIRMINGHAM を使用しております。

15 インチ鉄道は、現在も英国において私鉄として運行されており、実用性は遊園地用の車両とは比べ物になりません。商品は代理店を通じて英国の製造元に連絡すれば直ぐに送ってくれます。

しかし、シール財、制輪子、車輪、軸箱、軸受等については、製造コストが高いうえに輸送費がかかるので、国内で調達できるようにしました。

また、国内で入手できない部品についても代理店を通さずに直接製造元に発注し、経費削減に努めています。

スタッフは、40代半ばの私（園内交通課長小川氏・筆者）の他に30代で10年以上の経験があり、適度に機関車好きが2名、20代で実務経験6年、鉄道大好きが1名、経理のプロフェッショナルから転身、実務経験3年の30才新婚さんが1名、エリート銀行マンから転身、実務経験2年30才が1名、スタッフも英国らしくなってきました。

★大井川鐵道からのお知らせ★

—C11190の煙管・加熱管を取り替え—

- 1.C11190の募金は順調に進み、これから煙管・加熱管の取り替えにかかります。（写真1）
- 2.年末・年始の輸送等に関する安全総点検の一環として、投炭・散水・灰箱の扱い等SL乗務員の再教育を実施し、黒煙防止についての研修会を開催しました。黒煙を防げば石炭の節約、SLの運転のすべてに有利になります。
☆火は芸術・火は神様：SLを保存することにより投炭技術を伝承することの方が大井川鐵道にとって重要な財産である。
- 3.千頭駅50フィート転車台に文化庁の登録文化財のプレートが取り付けられました。4月には産業考古学会により転車台の回転抵抗の測定が行われます。
- 4.昨年秋、井川線（南アルプスあぶとライン）で牽く特別列車が運転され、高さ100mの関の沢橋梁・尾盛などでフォトランを行い、珍しい写真を残しました。鉄道ジャーナル社の竹島社長も参加し、「旅と鉄道2002冬の号」（No.135）に紹介されました。
- 5.C108は昨年秋、加熱器修理後、オハニ、ホキ等を牽いて試運転を行いました。（写真3）
- 6.冬季限定のSL列車でスチームクッキング！SLの蒸気でかん酒・ふかしいも・肉まんが、予約すれば特別料理のオーダーも可。

これは日本唯一です。火力は強く、カンはずぐにつきます。

- 7.昨年秋はSLの乗客が多く、しかもSLが一日に3機の運転が多かったです。
また、12月1日は4機運転となり、多くのSLが行き交って古き良き時代を偲ばせました。
- 8.2月10日、C108で夜行SL列車ミステリートレインを運転し、約80名が参加しました。
転車台での撮影、途中ではフォトランを行いました。（写真2）
- 9.インターネットによる大鉄情報が多く出回っているが、間違いが多い！
- 10.袋井市サッカー場（エコパ）に大鉄SLの大画面！衛星で世界に放送されます。
- 11.大井川鐵道で古枕木を買う人が増えています。



（写真1）C11190 煙管取り外し後の缶板とステー



（写真2）C108で夜行SL列車ミステリートレイン



（写真3）オハニ、ホキ等の試運転

★ふるさと鉄道保存協会からのお知らせ★

－「レトロ列車」の走行が好評－

当協会では、15tの小型ディーゼル機関車と、車掌車「ヨ 6114」の動態保存を継続しており、有田鉄道のイベント時に「レトロ列車」として駅構内を走行し、ご好評をいただきました。今後は、イベントでの出張運転や、リースなどのご要望にもお応えできるよう検討して参ります。また、協会では、名機として名高い電気機関車「EF58」の、運転席の部分の販売を行っております。運転席には機器類も揃い、子供たちに大きな夢を与えることでしょう。設置に必要な支柱や、階段、台車、レールなども取り揃えており、輸送から設置までお手伝いさせていただきます。なお、この販売は、原則として学校や公園などの公共施設に限定させて頂いております。

〔問い合わせ〕

京都市左京区松ヶ崎御所ノ内町 26
協会事務局



(写真上) DB20 とヨ 6114
(写真左) 販売予定の運転席

★やなせ森林鉄道を守る会からのお知らせ★

－ 森林鉄道の機関車と客車が完成 －

魚梁瀬地区で制作されている、木のおもちゃ「森林鉄道の機関車と客車」が完成しました。(写真 5 枚)

1. 野村式機関車 : 6,800 円
2. 谷村式機関車 : 5,500 円
3. 客車 : 14,000 円

〔問い合わせ〕

高知県安芸郡馬路村大字魚梁瀬 10-11

馬路村役場魚梁瀬支所

Tel : 08874-3-2211 Fax : 08874-3-2208

E-mail : yanase@mb.inforyoma.or.jp



野村式機関車



谷村式機関車



客車

★山口線 SL 運行対策協議会からのお知らせ★

— イベント列車「日本の旬号」が運行 —

【平成 14 年の運行日】

3 月 21 日（祝）～12 月 1 日（日）までの土日（土曜日については、運行しない日にあるので要確認）・祝日・春休み・GW に運行。

【イベント最新情報】

今年は 4 月から 9 月にかけて中国 5 県で開催する「JTB 日本の旬山陽・山陰キャンペーン」に合わせて様々なイベントを企画しており、その第 1 弾として、4 月 20 日（土）、5 月 18 日（土）、6 月 15 日（土）にイベント列車「日本の旬号」が運行されます。

この日に合わせて「沿線 PR デー」を開催し、乗車した方全員に、JTB 日本の旬オリジナル SL チョロ Q（限定 2,100 個）と沿線のお菓子等をプレゼントいたします。

〔イベントに関する問い合わせ〕

山口線 SL 運行対策協議会 083-933-3170

*乗車券・指定席券はお近くの「みどりの窓口」でお求め下さい。

URL: www.joho-yamaguchi.or.jp/c571/

i-mode: www.joho-yamaguchi.or.jp/c571/i/

ez-web: www.joho-yamaguchi.or.jp/c571/ez/

j-sky: www.joho-yamaguchi.or.jp/c571/j/

〔日本の旬に関する問い合わせ〕

JTB 西日本仕入販売部

Tel 06-6260-5200



オリジナル SL チョロ Q

★(財)日本ナショナルトラスト

トラストトレインからのお知らせ★

— トラストトレイン運行日が決定 —

【平成 14 年の運行日】

4 月 20 日（土）・5 月 25 日（土）

6 月 22 日（土）・7 月 13 日（土）

8 月 24 日（土）・9 月 28 日（土）

10 月 19 日（土）・11 月 30 日（土）

〔問い合わせ〕

東京都千代田区丸の内 3-4-1

新国際ビル 810 区

Tel : 03-3214-2631 Fax : 03-3214-2633

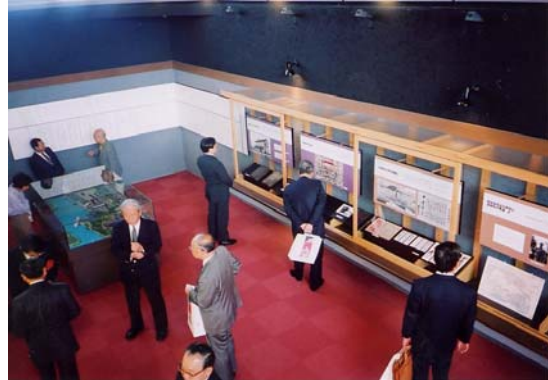
—トラストトレイン動態保存運転 15 周年—

おかげさまでトラストトレインは 7 月 25 日に動態保存運転 15 周年を迎えます。これもひとえに全国の皆さまの暖かいご支援・ご協力の賜物と感謝いたします。トラストトレインの運転開始当時は、大井川鐵道の他で、まだ蒸気機関車の動態保存運転をおこなっているところは数えるほどでしたが、今では北海道はじめ、全国各地で SL の旅が楽しめるようになりました。当財団が事務局を務める日本鉄道保存協会には現在、24 団体が加盟して相互に情報や意見の交換をして交流を深めています。昨年は、イギリスでの鉄道に関する国際会議に加盟団体を募って参加し、各国の歴史的車両の動態保存の現状を勉強するなど、その活動は年々活発化しています。トラストトレインは動態保存の先駆者として、これからも多くの方の夢を乗せて走り続けたいと思いますので、皆様のご支援をお願いします。



★(財)日本ナショナルトラストのヘリテイジセンター

「長浜鉄道文化館」にて平成 14 年度も継続で日本鉄道保存協会展を開催★



2000年10月14日の「鉄道の日」に開館した、(財)日本ナショナルトラストの5番目のヘリテイジセンター「長浜鉄道文化館」にて昨年度に引き続き、平成14年度も日本鉄道保存協会展を好評につき開催します。

「長浜鉄道文化館」は、現存する日本最古の旧長浜駅舎に併設して建設され、内部には鉄道の町として栄えてきた地域の歴史、文化を紹介するパネルや関連の資料を展示しています。

今回も、各団体のパンフレットを配布させていた

だきたく、下記宛300部程度送付をお願いいたします。機会がありましたら、ぜひご覧下さい。

【長浜鉄道文化館・ご利用案内】

□開館時間／9:00～17:00 (入館は16:30まで)

□入館料 / 大人300円、小・中学生100円

(20名以上は2割引き)

□休館日 / 12月29日～1月3日

□所在地 / 〒526-0057 滋賀県長浜市北船町1-41

Tel 0749-63-4091

★平成14年度総会について★

平成14年度総会は、栃木県の「真岡線SL運行協議会」で開催いたします。

開催時期については、協議会と事務局で調整していますが、9月上旬～中旬を予定しています。例事とは違った内容を盛り込むことを検討しておりますので、ぜひ多くの方のご参加をお待ちしています。

詳細が決まりましたら、ご案内いたします。



真岡線を走るSL